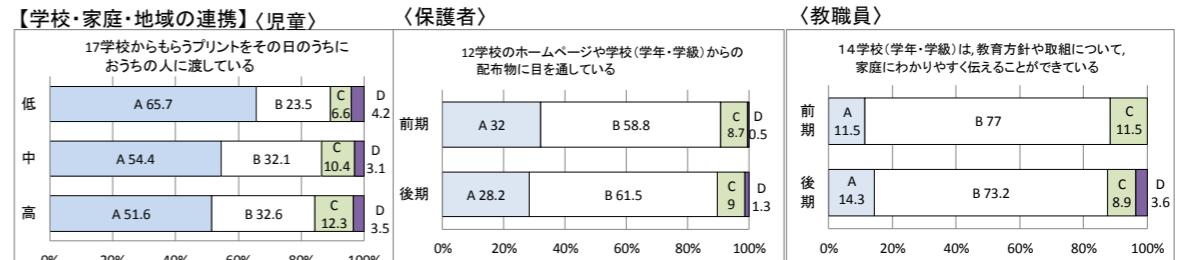
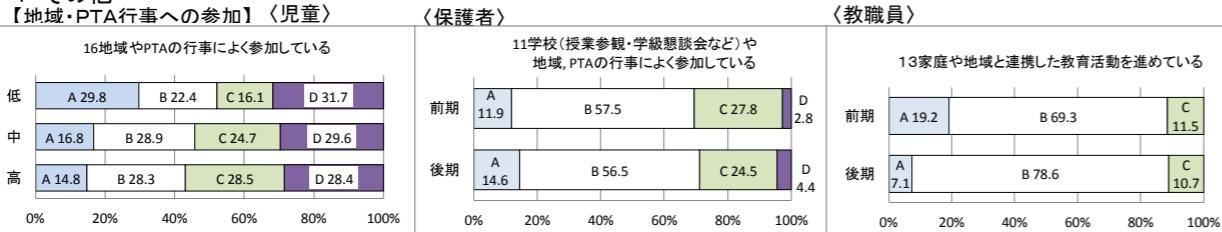


○「名札をついている」では前期に比べてA回答が中学年で7.7ポイント、高学年で5ポイント増となりました、また、「廊下は歩いている」では、高学年児童のA回答が4.5ポイント増となりました。「交通ルールを守り、安全に気を付けて行動している」では、中学年児童のA回答が7.7ポイント増となりました。これらの結果から、中・高学年児童の規範意識が高まっているとられます。しかし、「廊下は歩いている」については、10%以上の児童（中学年では約20%）がC・D回答でした。安全面に気を付けて行動することは、自分の命も他者の命も大切にすることにつながるという視点から指導することで、児童の安全への意識を高めたいと考えています。

○「早寝・早起き・朝ごはん」については、前期に引き続き改善に向けての取組が必要です。「保健だより」等を活用して学級指導を継続しますので、ご家庭でも基本的な生活習慣の確立に向けて、帰宅後の過ごし方等について話し合っていただくとともに、お子たちへの声かけなどご協力をいただきますようお願い致します。

○「休み時間に外に出て体を動かして遊んでいる」については、どの学年の児童もA回答が大幅に増えました。今年度より毎週火曜日に設定したロングの昼休み「ジャンプアップタイム」を、外遊びの時間として各学級で有効に活用できることもその一因だと考えられます。これからも、「教師も子どもと一緒に外に出て体を動かして遊ぶ」「『遊びの紹介コーナー』を充実させて外遊びの種類を増やす」などの取組を継続して、スポーツや体を動かして遊ぶことの好きな子どもに育てていきたいと考えています。

4 その他



PTAや地域行事への参加については、児童の回答から、前期と同様「大事だと思うが、（あまり）参加できていない」という傾向が見られました。保護者アンケートでは、学校行事への参加を含めてA・B回答が前期と比べて1.7ポイント増となりました。これからも、多くの方々に参加していただけるよう、おたよりや声かけなど広報に努めたいと思います。地域と連携した教育活動については、「総合的な学習の時間」を中心に、地域人材を生かした教育活動を今後も推進していきたいと考えています。

◆自由記述欄より(一部抜粋)

- 心身共に健やかな状態で過ごせていると思います。
- 本を読む時間が本当に少ないです。最近観た映画が楽しかったのか、珍しく読むようになっていますが・・・。できる限り、興味のある記事だけでも新聞を読ませるようになっています。
- 4年生になって部活動を始めました。部活動を通して「人と協力する」等、この先の人生においても大事なことを学べる良い機会となっていると思います。ありがとうございます。しかしながら、他の習い事と合わせると自由に遊べる時間がとても少なくなってしまっているところは、見ていてきゅううくつそうな感じがします。
- 帰宅時に大通りなどを通っているので、交通事故等心配があります。通学路を変えて通らないように、学校でもアナウンスしてもらえるとありがたいです。
- 学校の授業参観は仕事を調整して参加できますが、PTAまで仕事を休むことはむずかしいです。
- 外には体を動かしに出てほしいですが、親が家にいない事もあり、学校で体を動かしてもらう方が安心に感じます。特に冬はすぐに暗くなるし・・・。

◆学校運営協議会評議会委員会より 一改善に向けて話し合いましたー

- 夏休み期間中の図書開館日に実施した図書ボランティアによる読み聞かせは、大変好評だった。子どもが読書に親しみ、自分から進んで本を読む機会として、今後も継続したい。
- 周囲の大人から子どもに「おはよう。」とコミュニケーションをとるよう心がけたい。
- あいさつについては、「子ども」「保護者」「教師」の意識が微妙に違うので、意識が一致できるようにしたい。
- 運動に親しみ、体力を向上させるための取組として、「『ワンバウンド80』体験会」を、次年度も継続したい。また、子どもたちに「ワンバウンド80」を広めるための方法や時期について検討していきたい。
- 学童保育や放課後まなび教室からの下校時にも、見守り隊による見守り活動を継続していきたい。

◆学校評価アンケート – 振り返りを通してより良い教育活動へ –

京都市教育委員会生涯学習部より発行されている「コミュニティ・スクール通信@京都」にも掲載されているように、子どもたちの学校生活をよりよいものにするためには、学校・家庭・地域が互いに高め合う双方向の信頼関係を構築することが何よりも大切です。そして、三者が「子どもたちのために、自分はどのようなことができるだろうか。」という意識をもって、それぞれが教育活動に参画し、子どもを育むための取組を進めていくことが大切です。

このように、子どもたちへの教育は、学校だけで行うものではありません。「P L A N」（教育計画）⇒「D O」（教育活動）⇒「C H E C K」（点検【評価】）⇒A C T I O N（修正・改善）のサイクルの中で、教職員は、「教職員アンケート」を通して自己的取組について振り返っております。同様に、保護者の方にもアンケートを通して「自分はできているだろうか。」と振り返って考えていただき、今後より良い教育活動に生かしていただく機会として、「保護者アンケート」を実施しております。ご理解いただきますようどうぞよろしくお願い致します。